

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 陽 楽作成日: 平成 27 年 8 月 27 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		グループホームの在り方と今後の取り組み	11年前の開設時は、日常生活が出来て共同生活が出来た認知症の方が、入居できる条件であったが、近年は、看取り支援に取り組むことが当たり前で、職員の負担が大きくなり、ゆとりのある介護を目指すための検討を行っていく。	職員の介護技術の向上と意識の高揚を図り、利用者一人ひとりの介護の内容を検討し、生きる力を引き出す介護に取り組み、利用者の身体機能維持を目指し、職員一人ひとりが、利用者の自立に向けたケアの実践を行っていく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	当ホームの職員の介護の知識と、技術の高さを活用し、地域の介護相談や認知症啓発に取組み、高齢者やその家族の悩み、心配事等を相談出来る、頼りになる事業所を目指していく。	職員が充足し、勤務体制にゆとりをもって、行政や自治会長などと協働で、高齢者や独居老人の安否確認、徘徊模擬訓練等、地域も一緒に合同で実施し、福祉事業の地域の拠点を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。